

# 2026年6月期 第1四半期 決算説明資料

2025.11.7

澁谷工業株式会社



# 目次



- 01 業績ハイライト
- 02 2026年6月期第1四半期 業績
- 03 2026年6月期 予想



01

# 業績ハイライト

# 業績ハイライト



26/6期 第1四半期 実績

- ✓ 前年同期比で増収減益
- ✓ パッケージングプラント事業はプロダクトミックスの影響により、大幅な増収ながら利益は微増
- ✓ メカトロシステム事業、農業用設備事業は減収減益

26/6期 予想

✓ 2025年8月13日付で公表した連結業績予想から変更なし

#### <公表内容>

- ✓ 売上高は2025年6月期比で増加を見込むものの、損益面では若干の減益となる予想
- 主な減益要因は、人件費や償却費などの固定費の増加、素材・エネルギー価格の上昇、プラントのプロダクトミックスの影響



# 02

# 2026年6月期 第1四半期業績



# 決算サマリー

- ✓ 前年同期比で増収減益
- ✓ パッケージングプラント事業は大幅な増収ながら利益は微増。メカトロシステム事業、農業用設備事業は減益。

		2025年6月期 第1四半期		2026年6月期 第1四半期		増減率
	金額	売上比	金額	売上比		
(百万円)	a	-	b	-	b-a	(b-a)/a
売上高	28,055	100.0%	30,597	100.0%	2,542	9.1%
売上総利益	6,129	21.8%	4,512	14.7%	<b>▲</b> 1,616	<b>▲</b> 26.4%
販売費および一般管理費	2,658	9.5%	3,011	9.8%	352	13.3%
営業利益	3,470	12.4%	1,500	4.9%	<b>▲</b> 1,969	<b>▲</b> 56.7%
経常利益	3,364	12.0%	1,575	5.1%	<b>▲</b> 1,788	<b>▲</b> 53.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,316	8.3%	1,110	3.6%	<b>▲</b> 1,206	<b>▲</b> 52.1%
EPS (円)	83.7		40.1		<b>▲</b> 43.6	

# Shihuyu

## セグメント別売上高・営業利益

- ✓ パッケージングプラント事業は増収増益
- ✓ メカトロシステム事業、農業用設備事業は減収減益

	(百万円)	2025年6月期 第1四半期	2026年6月期 第1四半期	増減率
	売上高	14,682	21,140	44.0%
パッケージングプラント	営業利益	2,580	2,701	4.7%
	営業利益率	17.6%	12.8%	<b>▲</b> 4.8pt
	売上高	9,765	7,543	▲22.7%
メカトロシステム	営業利益	818	▲254	-
	営業利益率	8.4%	▲3.4%	-
農業用設備	売上高	3,607	1,913	<b>▲</b> 46.9%
	営業利益	600	▲308	-
	営業利益率	16.6%	<b>▲</b> 16.1%	-
調整額	営業利益	<b>▲</b> 529	▲638	-
連結	売上高	28,055	30,597	9.1%
	営業利益	3,470	1,500	<b>▲</b> 56.7%
	営業利益率	12.4%	4.9%	<b>▲</b> 7.5pt

#### パッケージングプラント事業

- 食品用プラントは国内および海外向け飲料無菌充填システムが増加
- ✓ 薬品・化粧品用プラントは注射薬バイアル充填システムが増加
- ✓ 顧客ニーズによりターンキー受注が増加し、受注案件毎に施工範囲が 増減するなか、周辺装置となる他社製品をプラントに組み込む割合が 増加することで原価率が高まったことから、大幅な増収ながら利益は 微増

#### メカトロシステム事業

- ✓ 半導体製造システムはEVやスマートフォン向けの需要回復が遅れていることから減少
- ✓ 医療機器は部品の一部不足による減産が影響したことから減少

#### 農業用設備事業

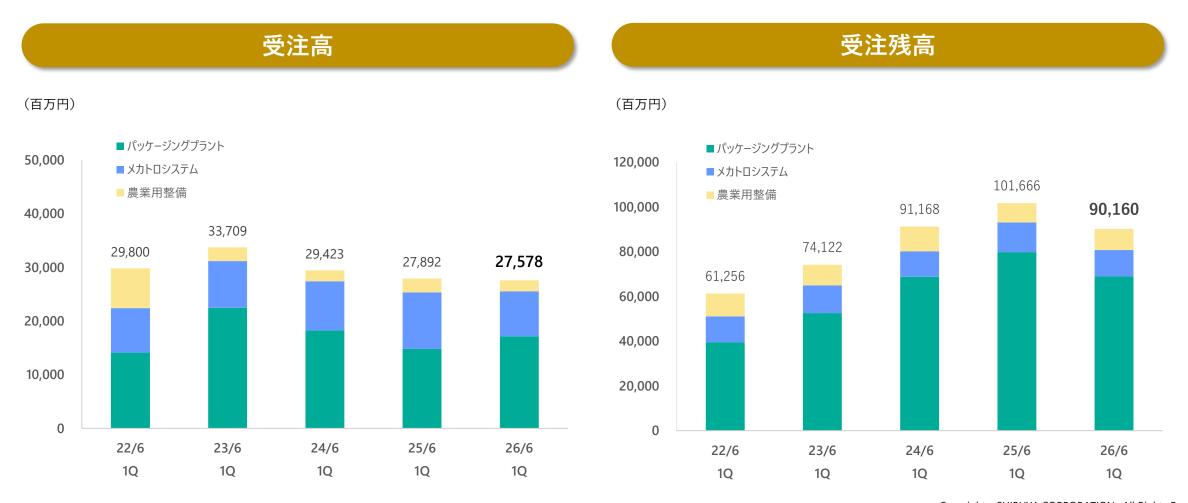
✓ 柑橘類向け、落葉果樹類向け、蔬菜類向けのいずれも大型の選果 選別プラントの納入が少なかったことから減少

#### 02 2026年6月期 第1四半期 業績

## 受注高·受注残高



- ✓ 受注高は前年同期比1.1%減少(パッケージングプラントが同16.0%増、メカトロシステムが同20.4%減、農業用設備が同20.9%減)
- ✓ 受注残高は前年同期比11.3%減少(パッケージングプラントが同13.6%減、メカトロシステムが同10.9%減、農業用設備が同9.3%増)



#### 02 2026年6月期 第1四半期 業績

# 連結貸借対照表

Shihuyu

- ✓ 総資産は1,587億円(前期末比6億円の減少)
- ✓ 棚卸資産、有形固定資産が増加し、現金及び預金が減少

(百万円)	2025年6月末	2025年9月末	増減額
流動資産	105,574	102,025	▲3,549
現金及び預金	45,579	39,651	<b>▲</b> 5,928
売上債権、契約資産	38,209	37,993	▲216
棚卸資産	17,392	20,511	3,119
その他	4,393	3,869	<b>▲</b> 524
固定資産	53,852	56,763	2,911
有形固定資産	43,810	45,376	1,566
無形固定資産	538	514	▲24
投資その他の資産	9,502	10,872	1,369
資産合計	159,426	158,788	▲637

<sup>\*</sup> 売上債権=受取手形+電子記録債権+売掛金

(百万円)	2025年6月末	2025年9月末	増減額
流動負債	42,723	41,842	▲881
仕入債務	19,408	18,724	▲684
短期借入金	907	907	0
契約負債	11,314	11,322	8
その他	11,092	10,887	▲205
固定負債	8,773	8,652	▲120
長期借入金	2,789	2,542	▲246
その他	5,984	6,110	125
負債合計	51,496	50,494	▲1,001
自己資本	107,921	108,285	363
非支配株主持分	8	9	1
純資産合計	107,930	108,294	364
負債純資産合計	159,426	158,788	▲637

<sup>\*</sup> 仕入債務=支払手形及び買掛金+電子記録債務

<sup>\*</sup>棚卸資産=製品+仕掛品+原材料及び貯蔵品

<sup>\*</sup>自己資本=純資産合計-非支配株主持分



03

2026年6月期予想

# 2026年6月期予想

#### 期初公表の業績予想から変更なし



- ✓ 売上高は2025年6月期比で増加を見込むものの、損益面では若干の減益となる予想
- ✓ 主な減益要因は、人件費や償却費などの固定費の増加、素材・エネルギー価格の上昇、プラントのプロダクトミックスの影響

2025年6月期		2026年6月期				
	(実績)		(予想) 		増減額	増減率
	金額	売上比	金額	売上比		
(百万円)	a	-	b	-	b-a	(b-a)/a
売上高	129,017	100.0%	133,000	100.0%	3,982	3.1%
営業利益	13,749	10.7%	13,000	9.8%	<b>▲</b> 749	<b>▲</b> 5.4%
経常利益	13,773	10.7%	13,200	9.9%	<b>▲</b> 573	<b>▲</b> 4.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,052	7.8%	9,300	7.0%	<b>▲</b> 752	<b>▲</b> 7.5%
EPS (円)	363.3		336.1			

# World Leading Technology



### **遊 谷 I 業 株 式 会 社**

シブヤグループ

TEL: 076-262-1240 E-mail: ir-info@shibuya.co.jp

本資料は、投資判断の参考になる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。 また、本資料は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、 当社としてその実現を約束するものではありません。今後の実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。